

夢を拓く

女子中高生のための

キャリア・サポート

よく聞かれる質問

ソロプチミスト／LIVEYOURDREAM.ORGの資料

「夢を拓く」は、将来的に成功する上で障害に直面しているSecondary schoolに通う女兒（日本では女子中高生）を対象にしたプログラムで、彼女たちが、プロフェッショナルな手本、キャリア教育、そして夢を生きるための資源を得られるようにします。取り扱うトピックは、キャリア機会、目標を設定して達成すること、成功に向け障害を克服すること、失敗や挫折から立ち直り前進する方法などです。

プログラムのゴール： 知識を得たり身近にお手本となる人を知ることによって、女兒がエンパワーされ（社会的な力をつけ）、キャリア目標を追求し、その潜在能力を発揮できるようになる。

目標：

1. キャリア目標を追求する準備ができていると考える女子中高生の数を増やす。
2. 達成可能な目標をうまく設定できる女子中高生の数を増やす。
3. 成功を妨げる障害を乗り越える方法を理解している女子中高生の数を増やす。
4. レジリエンス（回復力）の重要性を理解している女子中高生の数を増やす。
5. 自分の価値観とキャリアの可能性を結び付けられる女子中高生の数を増やす。
6. 将来の成功に対してより自信を持つ女子中高生の数を増やす。
7. お手本となるプロフェッショナルが身近にいる女子中高生の数を増やす。

プロジェクトの資料：

SIAは、「夢を拓く」への参加を支援する豊富な資料を用意しています。

- **「クラブのための計画ツールキット」：**地域のプロジェクトを始める方法をステップごとに説明します。
- **「カリキュラム・ガイド」：**調査に基づいて作成されたカリキュラムを効果的に利用する方法について理解していただくための指針です。
- **「評価ガイド」：**有意義かつ測定可能な方法で皆様のプロジェクトの影響を把握する方法をご説明します。

SIAのウェブサイトの**夢を拓く**セクションには、プロジェクトを成功させる上で役立つ多くの追加資料が掲載されています。

以下のよく聞かれる質問と答えをご覧になっても、まだ不明な点がございましたら、リジョンの「夢を拓く」委員長、プログラム委員長、連盟本部スタッフにご遠慮なくお問い合わせください。ソロプチミスト・クラブの皆様には、**リーダーシップ名簿**で「夢を拓く」のリジョン委員長もしくはプログラム委員長を探していただけます。または、クラブやプロジェクトを主催する組織の方は、連盟本部のプログラム課program@soroptimist.orgまでお問い合わせください。

一般的な質問

なぜ新しい女兒プログラムなのでしょう？

理事会は、私たちの集合的影響を大きくするために、女性と女兒の生活に持続的で測定可能な変化をもたらすSIAプログラムが必要であることを認識しました。10年以上にわたり、「ヴァイオレット・リチャードソン賞」がSIAの女兒向

けプログラムでした。このプログラムのゴールは、女兒に生涯にわたりボランティア活動に関わることを奨励することでした。理事会は、女兒を社会的・経済的にエンパワメントするためにソロプチミストにはもっとできることがあると判断しました。地域社会で「ヴァイオレット・リチャードソン賞」を贈り続けることを希望するクラブは、そうしていただいで構いませんが、SIAは、リジョン、連盟レベルではこのプログラムを支援していません。

プログラムの焦点にキャリア支援を選んだのはなぜですか？

SIAは、22カ国の女兒から412件のアンケートへの回答を受け取り、7カ国で女兒を対象にしたフォーカス・グループを50回実施し、さらに二次調査として、女兒が抱えている問題に関する専門家にインタビューを行いました。これらから、女兒は夢を生きるために数多くの障害に直面していることが明らかになりましたが、女兒も専門家も、女兒が何より必要としているのは、夢を追求する方法について知識や情報を共有してくれるメンターや信頼できる大人を得ることだという点で意見が一致していました。つまり、女兒のニーズと、ソロプチミストが提供できるものがうまく合致していることがわかりました。思春期の女兒が将来についての課題や機会をどのように理解しているか、またキャリア支援が必要な理由について詳しくお知りになるには、[「If She Can Dream It: Providing Role Models and Mentors for 21st Century Girl Empowerment\(夢を見ることができれば:21世紀の女兒をエンパワーするために手本とメンターを提供する\)」](#)をご覧ください。

「secondary school」とは何ですか？なぜ年齢を使わないのでしょうか？

学校教育と学校に通う女兒の年齢は、国によって異なります。「Secondary school」とは、国際連合によって使われている用語で、「小学校、中学校の後、高等教育や職業訓練の前に提供される教育」と定義されています。通常、Secondary schoolに通う女兒の年齢は14-18歳ですが、これはソロプチミスト会員がいる国によって異なります。

このプログラムは、「secondary school」に通う女兒(日本では、中学校、高校に通う14-18歳の女子中高生)だけが対象ですか？若い女性や男児はどうでしょうか？

私たちが実施した調査の結果は、「secondary school」の女兒に焦点を当てるべきであることを示していました。このプログラムの資料は、このグループ向けに作成されています。さらに、国際ソロプチミストアメリカの使命は、社会的・経済的エンパワメントをもたらすプログラムを通じて女性と女兒の生活を向上させることです。私たちの焦点は、女性と女兒の特別なニーズに向けられています。

プログラムの焦点が「secondary school」の女子中高生に当てられ、もっと年齢の低い女兒には当てられていないのはなぜですか？

SIAが、「secondary school」の女兒に焦点を当てたのは、「ヴァイオレット・リチャードソン賞」を通じて焦点を当てた同じ女兒グループであり、この年齢層の女兒との活動を続けたいという希望があったからです。「ヴァイオレット・リチャードソン賞」の経験から、SIAはより年齢の低い女兒より思春期の女兒(女子中高生)と活動することに関して多くの知識を持っています。SIAは、これらの女兒(女子中高生)たちともっと有意義に関わる方法を生み出し、彼女たちの生活により大きな影響をもたらしたいと考えました。国際的には、より年齢の低い女兒と初等教育を提供することに多くの関心と資源が向けられています。そうした努力は極めて価値あることですが、SIAは、年齢の低い女兒と活動するには制約と障害が多いことを理解していますし、また、異なったニーズを満たしたいと考えました。思春期の女兒(女子中高生)には十分に焦点が当てられておらず、一方、彼女たちには大きなニーズがあります。この新しい女兒プログラムを開発するにあたり、思春期女兒を対象にアンケートを行い、専門家から全体像に関する情報提供を受けましたので、「夢を拓く」は、彼女たちの具体的なニーズが反映されています。キャリア支援に焦点を当てた理由は、それが思春期の女兒があげたニーズを満たすものであり、同時にソロプチミストが語ることのできるトピックだからです。

「夢を拓く」のロゴの付いた独自の製品を印刷したり、販売することはできますか？

クラブは、無料で配るのであれば、「夢を拓く」のロゴの付いた製品を作ることができます。ただし、資金調達など、その他の理由でそれらを販売することはできません。

このプログラムは、キャリア目標を追求するために女子中高生に経済的支援を提供しますか？

現在のところ、プログラムは、小規模なグループ・メンタリングもしくは1日会議という形でカリキュラムを提供することをベースにしています。プログラムのゴールと目標は、カリキュラムの使用を通じて達成されます。SIAは、将来的に、カリキュラムを修了した女子中高生を対象に、経済的要素を作り出すことを検討しています。

「夢を拓く」へのクラブの参加についてSIAが期待していることは何でしょうか？

新しいプロジェクトに取り組むには大変な作業が伴うことを、SIAは理解しています。まずは小さく始め、翌年以降、時間をかけて育てていくことをお勧めします。5～10人の女子中高生を対象に小規模なグループ・メンタリングを行う、あるいは25～30人の女子中高生を対象に1日会議を行うのでも十分です。プログラムのゴールと目標が満たされることが大切であり、それは、会員と参加者の間で有意義な関係を構築することを通じて主に達成されます。

クラブにとって可能な頻度でプロジェクトを実施してかまいませんが、1年に1回実施していただければ十分です。

SIAは、プロジェクトに参加したクラブが[オンライン報告フォーム](#)を通じて、プロジェクトを報告してくださることを期待しています。クラブは、プロジェクトが終了してから1か月以内、もしくは遅くとも6月1日までにオンライン報告フォームを完了する必要があります。それによって、クラブは「参加した」とみなされます。

どのような表彰が提供されますか？

「夢を拓く」を修了した女子中高生には、参加証明書が贈られます。女子中高生は、履歴書に「夢を拓く」に参加したことを記入したいと思うかもしれません。

「夢を拓く」に関与したSIAクラブには、連盟本部から「参加認定証」をお受け取りいただけます。

「夢を拓く」への参加に関して、クラブが提供を求められているものは何ですか？

SIAは、参加したクラブが[オンライン報告フォーム](#)を使ってプロジェクトの報告をしてくださることを期待しています。クラブは、プロジェクトが終了してから1か月以内もしくは遅くとも6月1日までにフォームを完了することで、「参加した」とみなされます。プロジェクト1件につき、報告は1件のみです。もしクラブが少数グループによるメンタリング・セッションの一つを主催した場合やその他のクラブと協力した場合、1回の報告でそれを記入する欄があります。

私たちのクラブは、そのような大規模なプロジェクトを行うことはできません。「夢を拓く」を支援するために、他にどんなことができるでしょうか？

すべてのクラブが、「夢を拓く」を支援するために将来的に地域プロジェクトを計画するよう奨励されますが、SIAは、クラブによってはこれは大変な活動であることを理解しています。そうしたクラブには、次のような提案をしています。

- 将来的参加が可能かどうかをみるために長期的な計画作りを始めましょう。
- クラブがすでに関与しているプロジェクトを見直しましょう。それらは、集合的影響力を高めるというSIAの大きなゴール、および社会的・経済的エンパワメントにつながるプログラムを通じて女性と女兒の生活を向上させるという使命を支えていますか？クラブの資源（資金、人材など）を、そのプロジェクトから「夢を拓く」に移すことができないか検討してみましょう。
- まずは小さく始めましょう。少数の女子中高生をメンタリングする雰囲気だけでも構いません。
- 「夢を拓く」の成長を支えるために、「クラブ寄付」およびローレル・ソサエティにご寄付をお願いします。
- 「夢を拓く」を支援することに関心を持つかもしれない地域社会のパートナーを見つけましょう。
- 女子中高生と活動することに特に関心を持っている人を新会員に獲得しましょう。
- 近隣のクラブとパートナーを組み、そのクラブのプロジェクトを支援したり、共同でプロジェクトを開催しましょう。

計画作りに関する質問

私たちのクラブはすでに女兒プロジェクトを持っていますが、変更すべきでしょうか？

クラブは、既存のプロジェクトを「夢を拓く」のゴールおよび目標と合わせる方法を検討することをお勧めします。ご存知の通り、SIAの大きなゴールは、私たちの集合的影響力を高めることです。全員が同じプロジェクトに取り組むことで初めて、国際組織としてソロプチミストがもたらした影響を測定・報告できるようになるというゴールを達成できます。

さまざまなピックで女兒を対象にした会議を開催しているクラブもあります。私たちは「夢を拓く」が女子中高生にもたらす影響を測定しており、自分たちの集合的影響力を高めることが可能です。私たち全員が同じプログラムに参加すれば、それが女子中高生の生活にもたらす測定可能な影響を示すことができます。クラブは、既存のプロジェクトを「夢を拓く」のゴール、目標、カリキュラムに合致するようなやり方に見直すようにお勧めします。

地域社会にすでに似たようなプロジェクトがある場合、どうすればよいですか？

コミュニティー評価を行う中で、似たようなプロジェクトがすでにあることがわかるかもしれません。そのようなプロジェクトを行っている団体と連絡を取り、パートナーシップを結べる可能性がないか探ってみましょう。「夢を拓く」は、すでにあるプログラムをうまく補完できるかもしれません。また、すでに行われているプロジェクトの恩恵を受けている女子中高生の中に、クラブが追加の教育・技能を提供できる小集団が見つかるかもしれません。

地域レベルのプロジェクト実施のためにクラブ予算はどうしたらよいでしょうか？

予算は、クラブの地域レベルのプロジェクトの計画と、地域社会での経費によって決まります。カリキュラムの各セッションには、必要なもの一覧が書かれています。この他、会場費、女子中高生に交通費を支給する必要性の有無、軽食、無料で提供する贈り物などについても考慮しましょう。このプログラムは、女子中高生を支援したいという地域の企業や団体の関心を引くかもしれません。資金面での支援や現物の提供を得るなど地域の企業と協力しましょう。

女兒と一緒に活動するには身元調査が必要でしょうか？

国、州、自治体によって、若者と一緒に活動することに関する規則は異なっています。クラブは、その地域の法律を調べて、それを遵守しなければなりません。加えて、すべてのクラブは「SIA若者と一緒に活動するための手順」を順守する必要があります。詳細はそちらにあります。

私たちのクラブはこのようなプロジェクトをこれまで実施したことがありません。この新しいプログラムについて他に利用できる資料はどんなものがありますか？

これまでに女子中高生と活動したことがまったくないクラブにとって、「夢を拓く」はとても大変な活動に思えるかもしれません。SIAは、参加するために必要なすべての情報をクラブに提供することに取り組んできました。これには、以下のようなものがあります。

- [「クラブのための計画ツールキット」](#): 地域のプロジェクトを始める方法をステップごとに説明します。
- [「カリキュラム・ガイド」](#): 調査に基づいて作成されたカリキュラムを効果的に利用する方法について理解していただくための指針です。
- [評価ガイド](#): 有意義かつ測定可能な方法で皆様のプロジェクトの影響を把握する方法をご説明します。

この他にも、「[プロジェクトを成功に導く10のヒント](#)」、「[ファシリテーターを務める際のヒント](#)」といったその他のツールが数多くあります。これらの資料をご覧になったあとで、まだ懸念がございましたら、リジョンの「夢を拓く」委員長にさらなる支援を求めてください。世界中のソロプチミスト・クラブの多くが女子中高生と一緒に活動した経験を持ってお

り、あなたのクラブが地域レベルのプロジェクトを計画する際に手助けができるかもしれません。リジョン委員長が、こうしたつながりを得られるようお手伝いいたします。

カリキュラムに関する質問

カリキュラムの一部は、私たちの地域社会には合いません。変えることはできますか？

カリキュラムは、柔軟性があり、調整できるように作られています。SIAのクラブは、21の国・地域のさまざまな地域社会に広がっています。皆様には、女子中高生助言グループと協力して、内容、事例などが地域社会のニーズと一致するようにカリキュラムを見直すことをお勧めします。その際には、各セッションの学習目標および「夢を拓く」のゴール・目標を必ず達成できるようにしてください。

1日会議と小規模なグループ・メンタリングを混合したプログラムを行ってもよいでしょうか？それともどちらかだけに制限されていますか？

積極的にプロジェクトに取り組みたいクラブは、会議の後に、学んだコンセプトをさらに掘り下げるために小規模なグループ・メンタリングを行うといった混合プログラムを実施してもかまいません。繰り返しになりますが、大切なのは、クラブのプロジェクトが、このプログラムのゴールおよび目標を確実に達成することです。

このカリキュラムをもう少し年齢の低い女兒に使用することはできますか？

このカリキュラムは、特別にsecondary school(日本の場合、中学・高校)の女兒のために作られています。内容の一部は、年齢の低い女兒には向かない可能性があります。

カリキュラムのファシリテーターは誰が務めますか？

カリキュラムには、手順を追って詳細な指示が書かれていますので、希望する場合は、会員が各セッションのファシリテーターを務めていただくことができます。クラブは、カウンセラー、教育関係者、女性実業家など地域社会の人材を招くことを検討することもできます。ファシリテーターを選ぶ際には、次のような会員もしくは地域社会の人材を検討しましょう。

- 10代の若者と活動した経験がある。
- グループ討議を率いることに一定の経験・自信を持っている。
- 人の話に耳を傾けるスキルを持っている。
- 思春期の女子中高生の参加を引き出すような明るく積極的な姿勢を持っている。
- 思春期の女子中高生の信頼を得るのに役立つ率直さと誠実さを持っている。

「夢を拓く」カリキュラムのファシリテーションに関する詳細は「[ファシリテーターを務める際のヒント](#)」をご参照ください。

参加者が、クラブに対応できないと感じるような話題を話し始めた場合、どうしたらよいでしょう？

思春期の女兒の中には、不健全な交際、摂食障害、ボディ・イメージ、インターネット上のいじめ、自傷行為、家庭問題、薬物・アルコールの乱用などに苦しんでいる女兒もいます。参加者が、これらの話題について話すことがあるかもしれませんが、これらの問題への対処法をクラブが知っている必要はありませんので安心してください。ファシリテーターは、思いやりを持って相手を尊重する姿勢で話を聞き、それから、参加者に、学校のカウンセラー、スクール・ソーシャルワーカー、地域団体のカウンセラーやセラピストなど、訓練を受けた専門家を紹介しましょう。会員は、思春期の女兒が抱えているかもしれないこうした問題への対処法を知っていることは期待されてはいません。そうではなく、利用できるサービスやこうした問題への対処法について訓練を受けた専門家に女兒を橋渡ししてあげる用意をおきましょう。